

ルーミー/トール モデリスタセレクション

リヤスポイラー 取付要領書

(品番：MSD42-B1005(6)-※※ / D2644-52210-※※ / D2644-65010-※※)
型式：M9#0A-GB## / M9#0S-GB##

グレード：全グレード

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、リヤスポイラーの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行ってください。

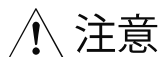
取り付け上の注意事項

- 取り付け前に車両に傷がついていないか確認して下さい。
- 車両が動かないよう、エンジンを切り、車止め等をして作業して下さい。
- 開梱時、同梱部材の有無、製品本体の不具合が無いか、取り付け前に確認して下さい。
- リヤスポイラーを取り付ける部分の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取って下さい。
- 車両へリヤスポイラーを取り付ける際は、**左右1名ずつ2名で作業**を行って下さい。また、仮組み等の際、マスキングテープ等で車両への傷つき防止対策を実施して下さい。
- 重要 ■ 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗って下さい。取り付けが確実に
行えます。(PAC プライマー N-200 を本品に同梱)
プライマーの効果を発揮させる為、塗布後、**常温で10分間以上放置**し乾燥させて下さい。
- 重要 ■ 両面テープは、外気温が **20℃以下になると接着力が低下します**ので、両面テープ及び被接着面をド
ライヤー等で温めてから貼り付け作業を行って下さい。
- 両面テープ用プライマーは、溶剤が揮発するため速やかに作業を終了して下さい。
- 両面テープ用プライマーは、塗装面を黄変させますので必ず塗布面以外をマスキングし、はみだした
プライマーは、アルコール等で完全に拭き取って下さい。
- ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパ
ウンドで除去して下さい。(必ずマスキング、なるべく細かい番手で行って下さい。)
- ボディコートが塗布されている車両は、脱脂作業を行っても、プライマーの接着力促進効果を充分
に発揮できない場合があります。
ボディコート除去後は、アルコール等で脱脂をきちんと行って下さい。
- 重要 ■ 両面テープの圧着を充分に行って下さい。**49N (5kgf) 以上**
- 重要 ■ リヤスポイラー下面部のボルト本固定は、両面テープ貼り付け後、3時間以上放置後、行って下さい。

取り付け完了後の点検・注意事項

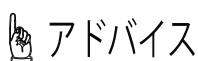
- リヤスポイラーが、車両に確実に装着されているか確認して下さい。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか確認して下さい。
- 取り付け完了後、リヤスポイラー及び車両部品に傷がついていないか確認して下さい。
- 取り付け完了後、**最低24時間**は強い力をかけたり、濡れない様注意して下さい。
(両面テープの剥がれ、車両とリヤスポイラーとの間に隙間が発生する恐れがあります。)

取付要領書には下記マークを使用しております。



注意

この取付は特に重要な項目です。必ず読んでお守り下さい。
守らないと傷害や事故につながるおそれがあります。



アドバイス

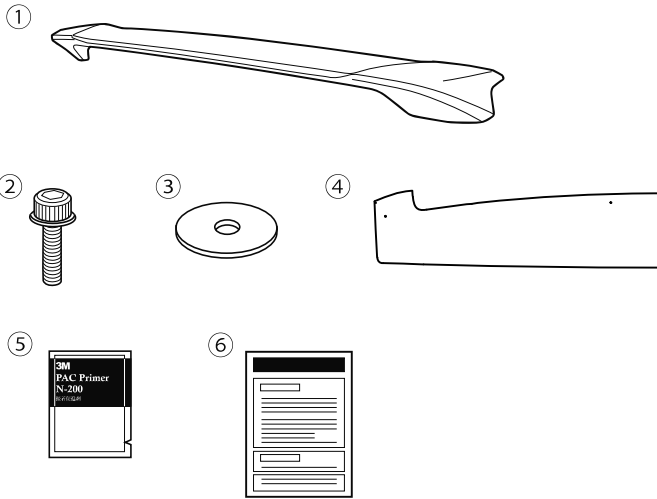
この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂
きたい事を左図マークで表示しております。

ルーミー/トール モデリスタバージョン

リヤスポイラー

品番：MSD42-B1005(6)-※※ / D2644-52210-※※
D2644-65010-※※

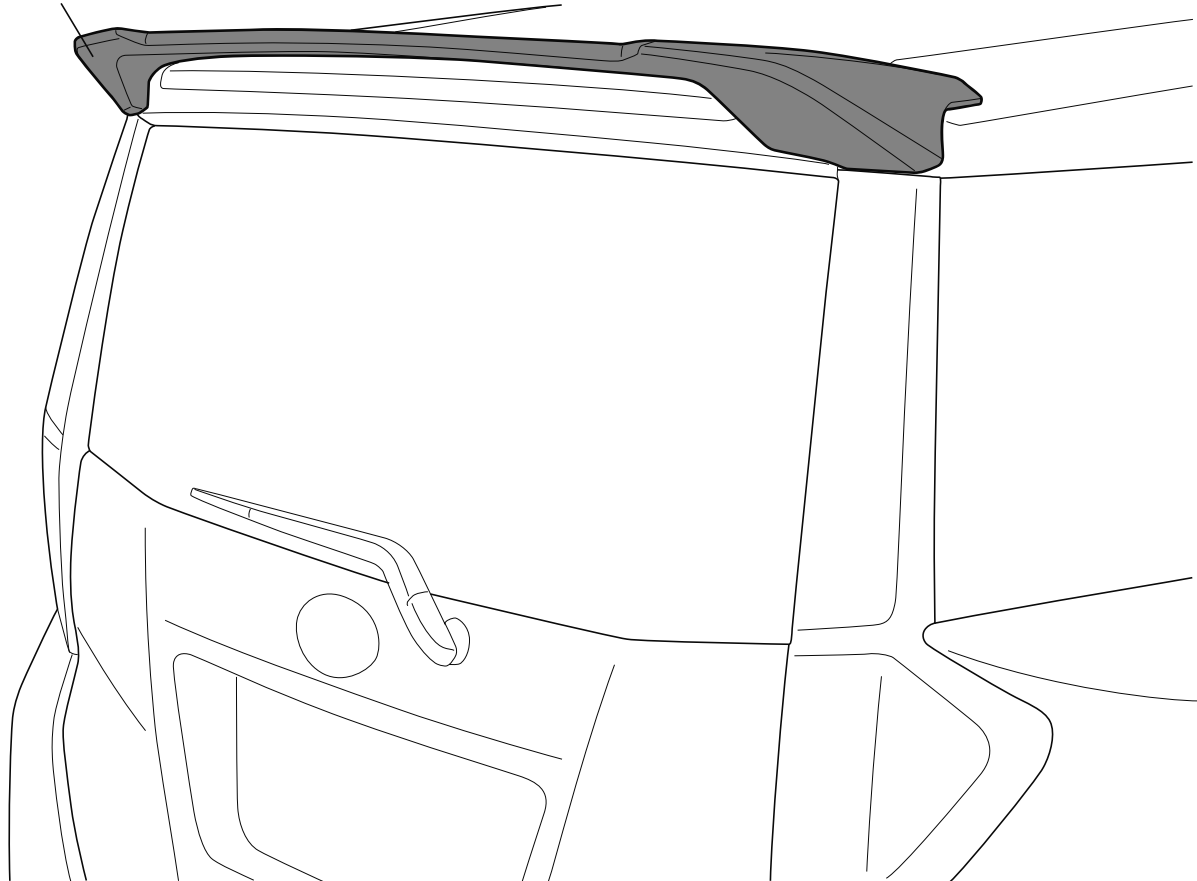
構成部品



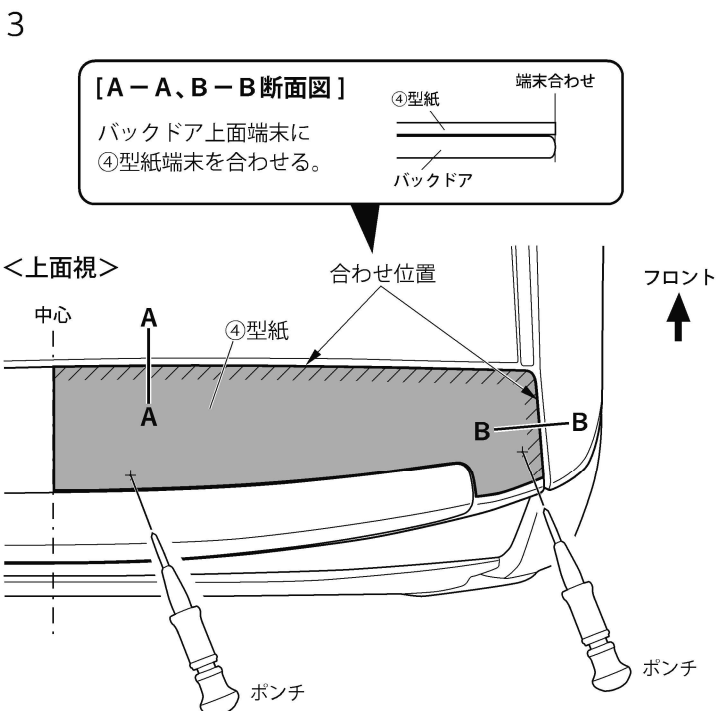
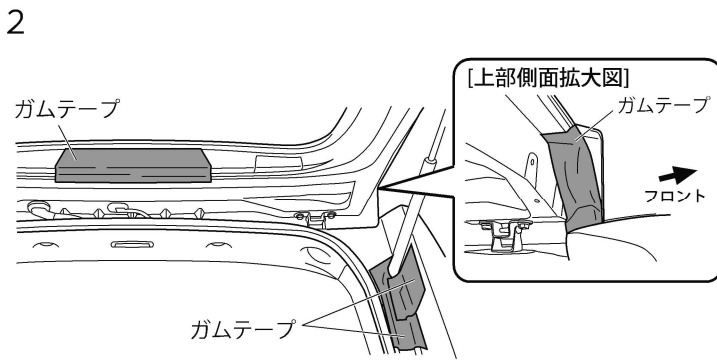
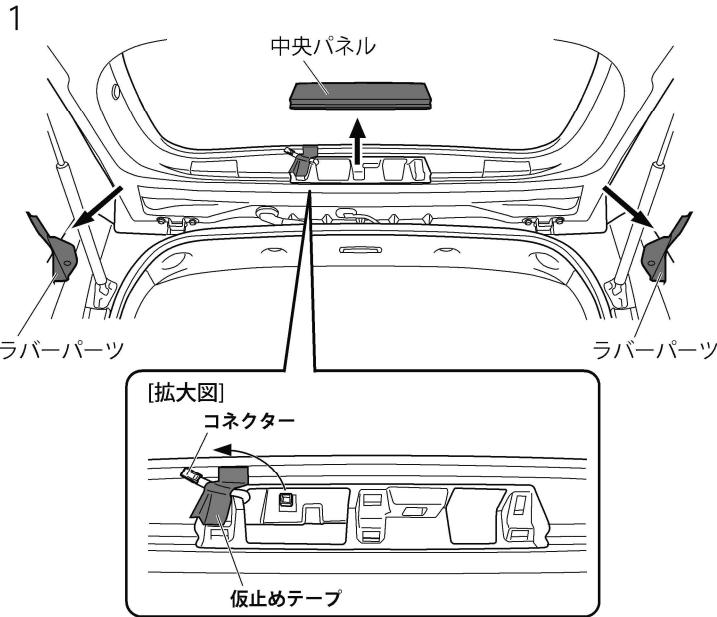
No.	品名	個数
①	リヤスポイラー	1
②	キャップボルト (M6×20)	4
③	平ワッシャー	4
④	型紙	1
⑤	PACプライマー N-200	1
⑥	取付要領書 ※MSD42-B1005(6)-※※ / D2644-52210-※※ には⑥取付要領書は含まれません。	1

取付概要

①リヤスポイラー



取付手順



この取付手順は右側で示してあります。左側も同じ要領で作業してください。

1. 修理書に従いバックドア内側、上方中央のパネルおよび上部左右側面のラバーパーツを取り外し、ハイマウントストップランプのコネクターを外し、外側に折り返してガムテープ等で仮固定する。

! 注意

※左右側面のラバーパーツを固定してる車両クリップを取り外す際、車両クリップに装着されているパッキンを破損、紛失させない様にしてください。

2. 左図に従いバックドア内側の1. で取り外した箇所および、ダンパー基部周辺にガムテープ等を貼り付けて切り粉混入保護策を施す。

! 注意

※穴あけ作業時の切り粉がバックドア内部およびラゲージルーム内に入り込まないためのための保護策です。

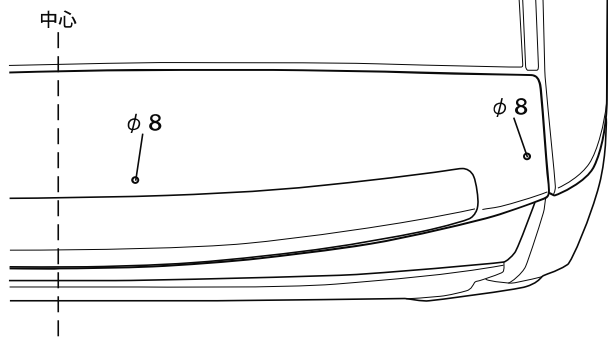
3. 左図に従い、バックドア上面に④型紙を使用しポンチ等で穴位置をマーキングする。(片側2ヶ所)

! 注意

※左図に従いバックドア外周端末に④型紙を合わせてください。
※左側のマーキング作業は、④型紙を表裏反転させて再使用してください。

4

<上面視>

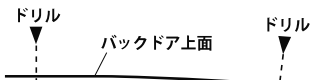


フロント



■ 穴あけ時の注意点 ■

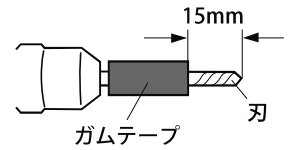
バックドア上面にドリルの刃を垂直にして穴をあける。



4. ④型紙を外し、マーキングに対してφ 2→φ 4→φ 6の順に下穴をあけ、φ 8の本穴を片側2ヶ所あける。

👉 アドバイス

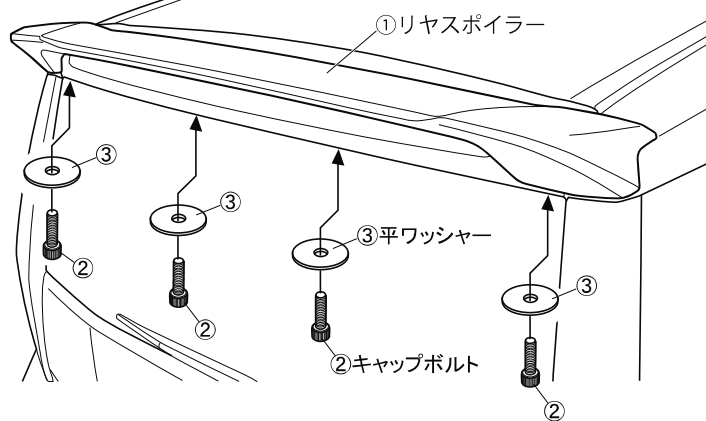
※穴あけ作業の際はドリルの刃にガムテープ等を巻き、貫通防止策を施してください。



⚠️ 注意

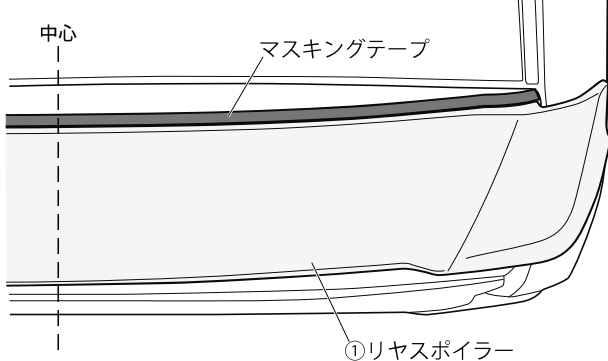
※穴あけ後は、必ず穴周囲のバリを取り除いてください。

6



7

<上面視>



フロント

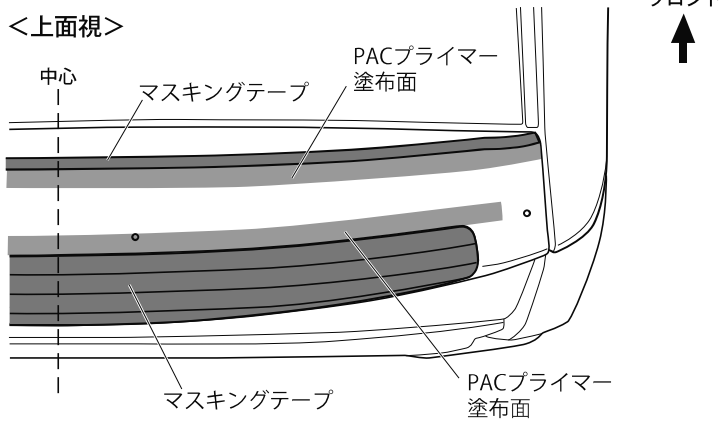


5. 2. で貼り付けた切り粉保護策（ガムテープ）を剥がす。
6. ①リヤスポイラーを車両に仮当てし、バックドア内側から②キャップボルト、③平ワッシャーで仮止めする。
7. 仮当てした①リヤスポイラーの前端に合わせて左図のようにバックドア上面にマスキングテープを貼り付ける。

8. ①リヤスポイラーを車両から取り外す。

9

<上面視>



9. 左図に従いバックドア上部の両面テープ貼付け面に⑤PACプライマー N-200を塗布する。

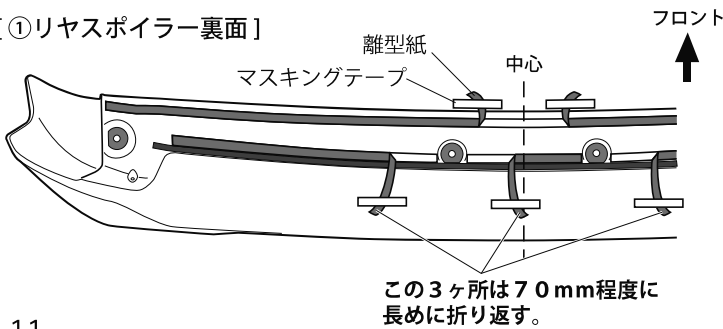
注意

PACプライマーN-200の使用について

- ※ 塗装面を黄変させますので、マスキングを行いはみ出さないようにし、万が一はみ出した場合はアルコール等で確実に拭き取ってください。
- ※ 塗布後は常温で10分以上放置し、乾燥させてから作業に入ってください。
- ※ ボディーコートを処理されている車両はマスキングをして両面テープ貼付け面を塗装用コンパウンドでコーティングを除去してください。

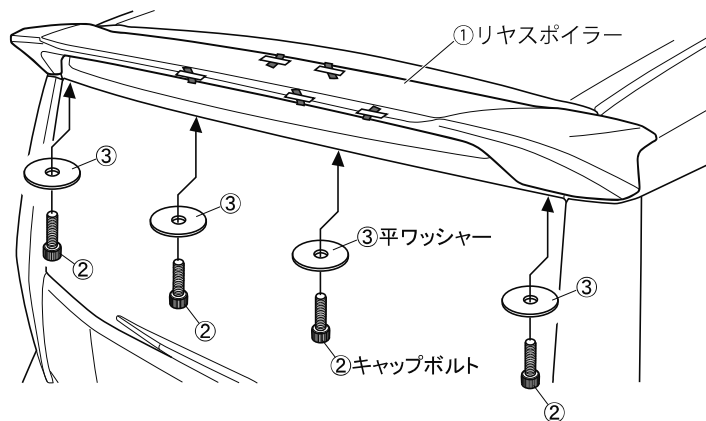
10

[①リヤスポイラー裏面]



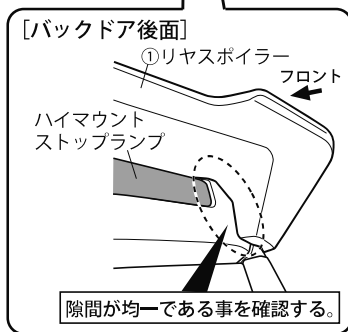
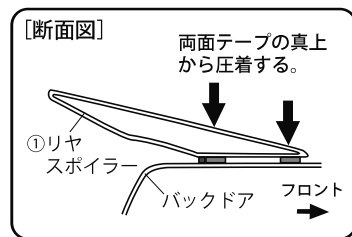
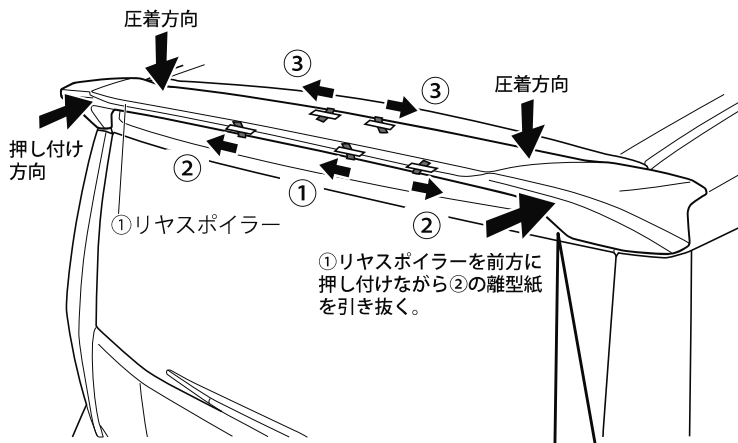
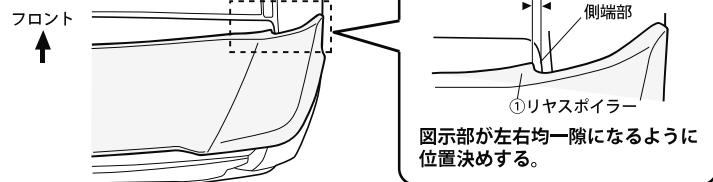
10. 両面テープの離型紙をめくり、①リヤスポイラー表面に折り返してマスキングテープで固定する。(6ヶ所)

11



11. ①リヤスポイラーを車両に仮当てし、左図に従い取り付け位置を確認しながらバックドア内側から②キャップボルト、③平ワッシャーで仮止めする。

12
 <上面視>

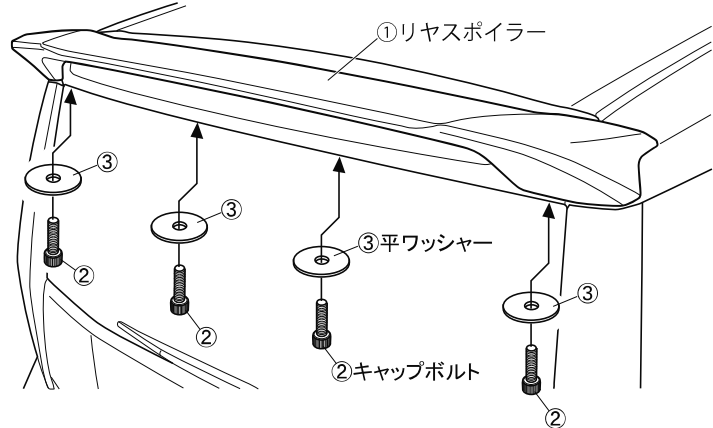


12. ①リヤスポイラーの位置を確認し、左図の順番で左右交互に離型紙を引き抜きながら49N (5kgf) 以上の力で圧着する。

注意
 必ず指定順番にて左右交互に離型紙を引き抜いてください。順番を誤ると両面テープの密着が悪くなり、浮き・はがれの原因となる可能性があります。

注意
 ※①リヤスポイラーを後方から前方に押し付けながら圧着し、左図で示す箇所の間隔が均一であることを確認してください。

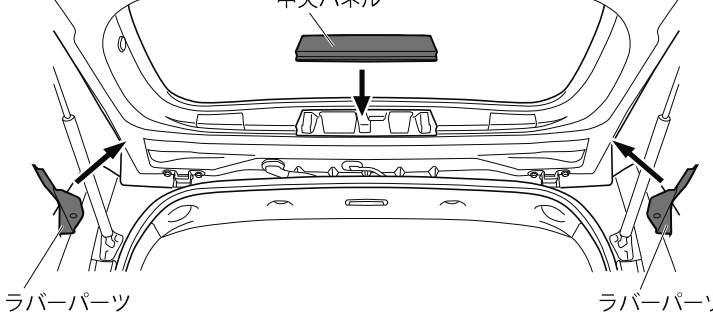
13



13. 両面テープ貼付け後、3時間以上放置してから仮締めしていた②キャップボルトをバックドア内側から本締めする。

アドバイス
 ②キャップボルト締め付けトルク
 6.0 N/m

14



14. 1. で取り外したハイマウントストップランプのコンネクターを接続し、バックドア内側、上方中央のパネルおよび上部左右側面のラバーパーツを修理書に従い取り付け。

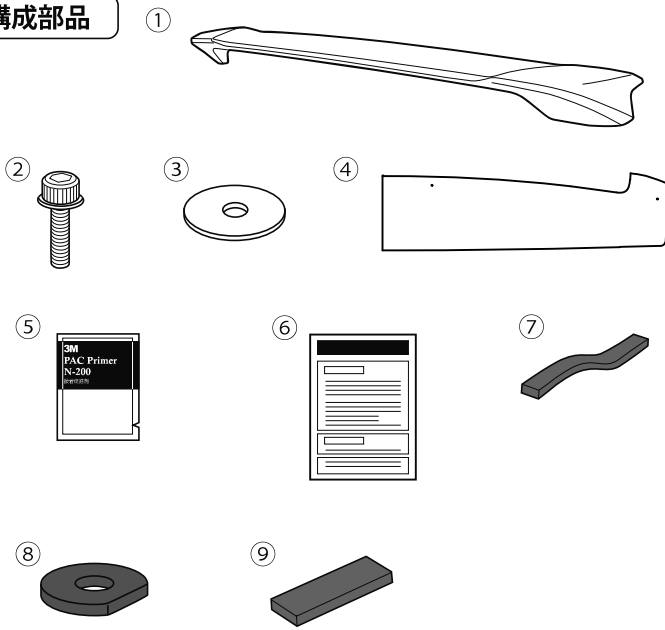
15. 取り付けがしっかりと行われているか確認し、両面テープ貼付け部を再圧着する。

リヤスポイラー

(品番：MSD42-B1005(6)-※※ / D2644-52210-※※ / D2644-65010-※※)

素地品の塗装手順

構成部品

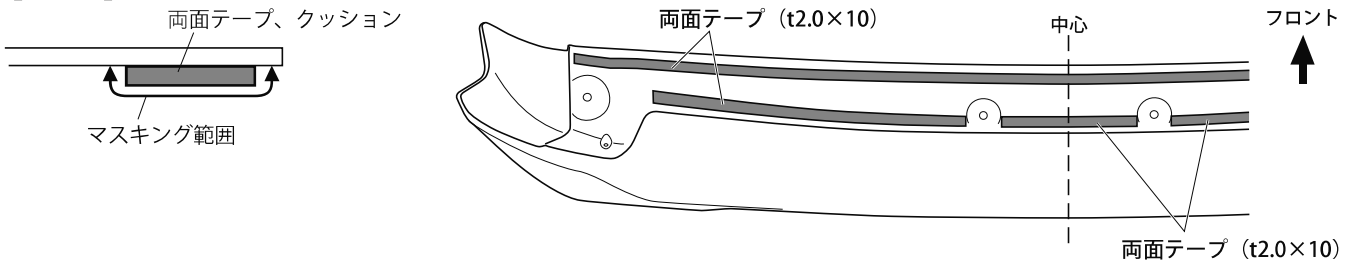


No.	品名	個数
①	リヤスポイラー	1
②	キャップボルト (M6×20)	4
③	平ワッシャー	4
④	型紙	1
⑤	PACプライマー N-200	1
⑥	取付要領書 ※MSD42-B1005(6)-※※ / D2644-52210-※※ には⑥取付要領書は含まれません。	1
⑦	クッション t3mm×5mm×1000mm	1
⑧	パッキン	4
⑨	クッション (小) t2mm×10mm×35mm	2

① 塗装作業

1. 塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで取り除き、必ず脱脂を行ってください。
2. プライマー塗装を行ってください。
3. 本体を塗装してください。
注記：上塗り用の塗料はウレタン系をご使用ください。
塗装乾燥温度は成形樹脂の物性上、必ず60℃以下で乾燥させてください。
変形しない様、形状を保持して乾燥してください。
4. 両面テープの幅に合わせてマスキングしてください。

【断面図】



アドバイス

もしペーパー等で素材を研磨する場合は、必ずペーパーの番手 #600 以上で完了してください。

②貼り付け作業

1. 塗装終了後、⑦クッション、⑧パッキン、⑨クッション（小）を貼り付ける部分を脱脂し、
⑤ PACプライマー N-200 を塗布してください。
⑤ PACプライマー N-200 塗布後は、**常温で10分以上放置し乾燥**させてください。

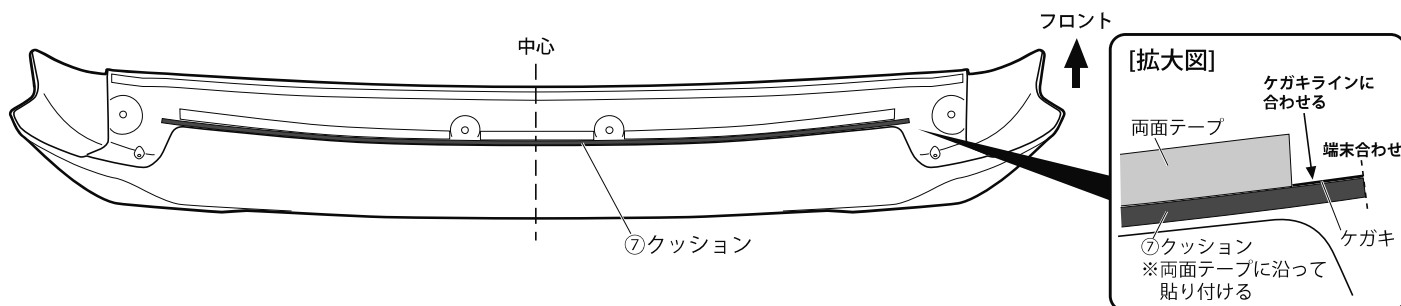
👉 アドバイス

PACプライマー N-200はリヤスポイラー取り付け時に再使用します。

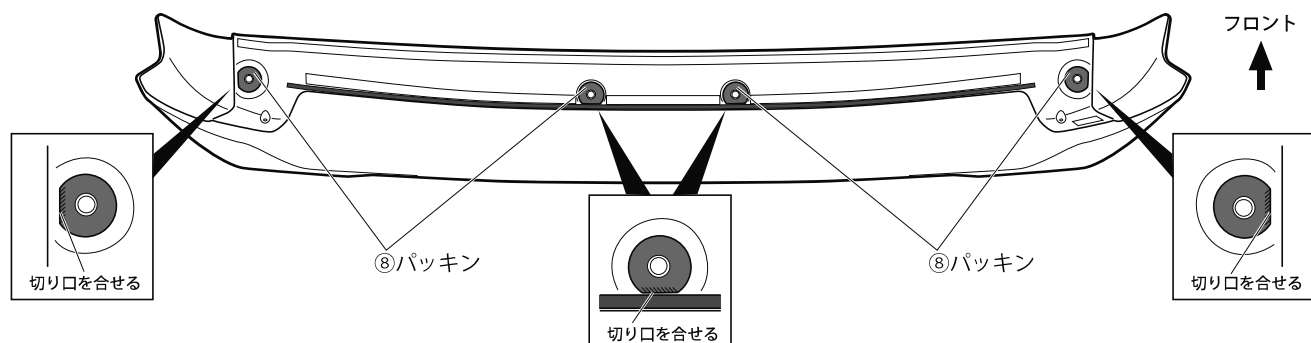
揮発性が高いので、速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

PACプライマー N-200は特に白色塗装面を黄変させますので、マスキングするかはみ出したプライマーはアルコール等で拭き取ってください。

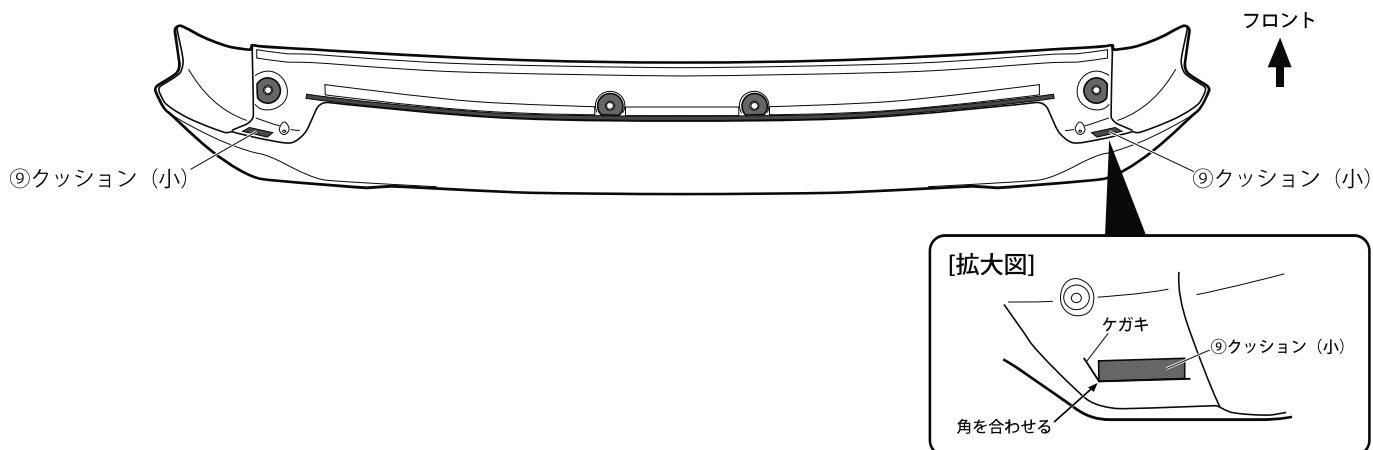
2. ①リヤスポイラー裏面下図位置の形状に沿わせて⑦クッションを貼り付けてください。
※①リヤスポイラーの中心を基準に左右均等の長さになるように貼り付けてください。



3. ①リヤスポイラー裏面の取付け穴を囲う様に⑧パッキンを貼り付けてください。（4カ所）



4. ①リヤスポイラー裏面のケガキに沿って⑨クッション（小）を貼り付けてください。（2カ所）



脱脂作業要領書

本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のQRコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

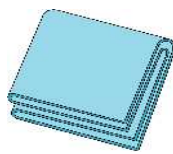


- ①エアロ取付準備・脱脂 (約3分)
 - ②エアロ位置決め・取付・圧着 (約6分)
 - ③デカール準備・水貼り・圧着 (約4分)
- 合計 約13分

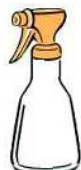
■ 取付け時の脱脂作業に必要な工具等



水拭き用バケツ



合成セーム皮



脱脂剤用
スプレーボトル



ゴム手袋



DRY 用
ウエス




WET 用
ウエス




イソプロピルアルコール(IPA)
純度 70%程度を推奨
※純度 100%はモールを痛めるため
使用しないこと

■ 脱脂作業上の注意事項

1. ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2. 隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等を行わないで下さい。
※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3. 脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4. 脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5. 脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

 注 意・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

 アドバイス・・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。



使用禁止



ブレーキクリーナー
パーツクリーナー



ホームセンター等でキャンプ用
燃料用として販売されている
ホワイトガソリン〔白ガス〕

市販のブレーキ・パーツクリーナー及びキャンプ用品や燃料用のホワイトガソリンは
油脂分や不揮発性添加物が含まれているものがありますので使用しないで下さい。
コーティング剤の下地処理剤は、用途と異なるため脱脂作業には使用しないで下さい。
脱脂不足により、浮き・ハガレの原因となります。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。

下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。

大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。

脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。

《脱脂作業前に》以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■ 脱脂作業前に

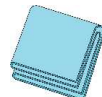
- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
汚れのひどい場合は、洗剤を使用して汚れを落とし、洗剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
※コーティング剤が残っていると両面テープはハガれます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■ 脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。



水拭き用バケツ



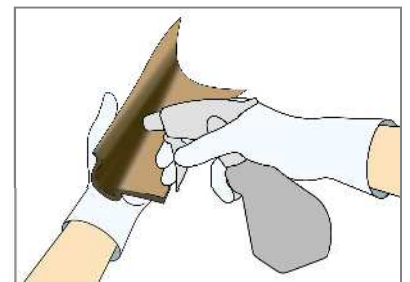
合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。



WET 用ウエス

※ ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。



WET 用ウエスにスプレーボトルを 5 cm ほど離して、初回は 10 回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で 5 回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

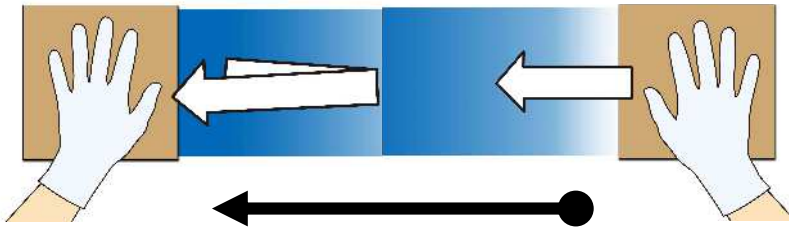
● 取付け面の脱脂作業を行う

① 【WET 拭き】

脱脂剤を含ませたウエスで
1 往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

② 【DRY 拭き】

DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



1 ブロック 60 cm 程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。

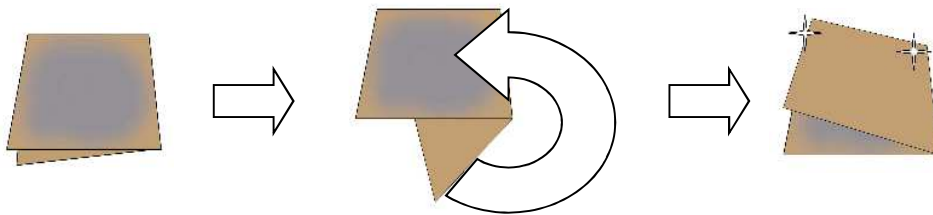
範囲が広い場合は 1 ブロック 毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる



WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。

(上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。)

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・DRY 拭きを行ってください。



WET/DRY のウエス共に 3~5 ブロック 毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。